

京都大学経済学研究科附属プロジェクトセンター主催

第8回先端ファイナンスビジネス研究会

機関投資家運用の最前線

ー非伝統的資産運用とリスク・マネジメントー

講師：大津 博道氏

アクサ・インベストメント・マネージャーズ*（株）執行役員投信・投資顧問部長

日時：4月24日（水）16:30-18:00

参加：自由（事前の登録の必要はありません）

場所：総合研究2号館 大講義室

*) アクサ・インベストメント・マネージャーズは保険事業などフィナンシャル・プロテクション分野で
世界をリードするアクサ・グループの100%出資企業です。

<概要>

低金利、急激に変化する市場動向に対して、長期の資金を運用する世界の大手機関投資家は様々な資産運用戦略に分散投資を進めています。投資する戦略は債券や株式などを買うという伝統的な運用戦略から、ヘッジファンドやプライベートエクイティ、不動産など非伝統的な運用戦略まで多岐にわたっています。この分散投資は、低金利や高まる市場変動の中で、必要なリターンをあげる為の努力であり、それに伴う運用上のリスクを分散する手段です。

本講義では、このように大手機関投資家が投資する多様な運用戦略を紹介し、現在の資産運用の最前線を理解することを目的とします

<先端ファイナンスビジネス研究会の趣旨>

ITや金融技術の進展は金融ビジネスを大きく変貌させている。ファイナンスビジネスは伝統的な業態（銀行、保険、証券など）を中心とした構造から、新たな付加価値をもたらす新しいプレーヤーが大きな影響力を持つようになって来ている。広く金融市場、企業ファイナンスを理解するうえで、これら新しいプレーヤーの役割を理解することは必須となっている。「先端ファイナンスビジネス研究会」では、これらの新しいプレーヤーを理解することを目的とし、各分野の実務担当者を招き講演、自由討議を行うものである。

お問合せ：京都大学経済学研究科附属プロジェクトセンター 加藤康之 / 松尾千里

Mail:kato@econ.kyoto-u.ac.jp Tel:075-753-3429(加藤)/3443(松尾)